

ドクター白鳥 47歳になりました。



セラさんのお店で、事務長と誕生祝い。三月八日。

～真実一路の旅なれど、
真実、鈴振り、思い出す～
北原白秋「巡礼」

あなたを支えて、
今日まで来ました。
そして、明日からも。
あなたがあなたらしく。
生きていけるように。

ようこそ「我が家」へ 鵜通信

くぐい (=白鳥) だより

鵜通信(くぐいだより) 第69号
発行日: 平成21年4月1日
発行人: 白鳥政之
住所: 〒430-0814
静岡県浜松市恩地町192
白鳥内科医院
定価: 500円



2009年4月号



オッこれがあの・・・
その理由は2Pを。

受付スタッフ求人再開。



「当院での対応が良かった」
と感じたあなた。
まずは応募者リストに登録を!

診察・CT受付



053-427-0007

頭痛・めまい・物忘れ
「ねたきり」予防

脳検査・治療センター

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30~12:30	○	○	○	-	○	○	○	○
15:30~18:30	○	○	-	-	○	-	-	-

白鳥内科医院

検索

サプリ選びに悩んでいるあなたに。天然素材の安心サプリ、ご紹介できるようになりました。

次のページは、豪&淳 東京だより

豪&淳
東京だより

「キョービの高校・小学生事情」を教えてください。甥からの便りです。豪&淳は、子供のいない院長のお友達みたいなもの。ほぼ毎月交互に話題をお送りします。

(その12)

高2

豪

歩いた！
見た！
食べた！

ルネッサンスの花を探した
フィレンツェ観光
3回目

■一月三日(五日目) フィレンツェ観光のフィナーレを飾るのは？

サンマルコ美術館で見ることが出来るのは、かねてより楽しみにしていたフラ・アンジェリコの受胎告知。一階から二階へと続く階段の踊り場からその絵は見上げることができる。「清らかさ」「温かさ」という点において他の受胎告知と一線を画すといわれるこの絵。心洗われながら静かに流れる時を感じた。もとは修道院



フラ・アンジェリコの受胎告知

だったこの美術館では、各僧房の壁に、連なるようにキリストの誕生から死までが描かれている。物語をみているようで楽しかった。その芸術性もさることながら、神への愛が表現されたサンマルコ美術館は、最後に相応しい美術館だった。

★ホテル推奨のレストラン(名前はなんだっけ?)

なんせ、地元民の行く店は、戦場みたい。気が弱いと注文するタイミングすらありません。この喧騒の中で、落ち着いて注文し、悠然と食べ、おしゃべりできれば、あなたはもはやフィレンツェ通。でも二晩めには(そうなるにはちょっと通いつめる要あり)、ピステッカにかぶりついてはしゃいでいるところを(いったい誰?)、カメリエーレ(給仕)にパシャリしてもらうまでに成長。※ピステッカとはフィレンツェ名物Tボーンステーキのことです。

★カメリエーレとは、こんな人です。

カメリエーレ「ご注文は？」
ドクター白鳥「じゃあ、まず前菜に生ハムとメロンで。」
カメ「いや、盛り合わせのほうがお勧めだよ。」
白鳥「パスタはボンゴレビアンコ。」



カメ「いや、ロツソの方が絶対に美味しいよ。」
白鳥「…じゃ、ロツソで。それと、メインは豚のアリスタで。」
カメ「いや、こっちのピステッカがいいと思うよ。」
白鳥「…じゃ、それで。…デザートのおススメはなんですか…? (涙)」

これを乗り越え、あなたはフィレンツェ侍になります。

※ドクター白鳥は、ピステックカ用ナイフをおい、土産を選んでもらい、ご満悦。でもテレビの飾りも飾ります。



中央市場の「バローニ」フィレンツェの胃袋、食材屋。凍えそうな市場の中で、サラミや、チーズ選びを一生懸命手伝ってくれたおばちゃん。終いには、鼻水たらしてました。

■番外編「おくりびと」を観て

先日、アカデミー賞を受賞した映画「おくりびと」。フィレンツェへ向かう機内で鑑賞することが出来た。

印象に残ったのは、山崎努が辞表を出してきたモックンを誘ってふぐの白子を食べるシーン。これ以外にもクリスマスに皆でチキンにかぶりつくなど、**食べるシーンの多い映画**だった。これらの意味する所は、人間の生命は他の生物の犠牲の上に成り立つ尊いものであり、その**尊い命**

の終わりに携わる納棺師もまた尊い仕事であるといことではないだろうか。

そして、モックンが父の遺体に死化粧するシーン。父をおくるうちに、子供の頃にみた父を思い出し、同時に自分にも父親としての自覚が芽生えてゆく（広末は妊娠していた）。その様は、最大のテーマである日本人の死生観が象徴されたシーンであった。

機内で観ただけなのに、さすがアカデミー賞受賞作。しみじみと感動できる作品だった。



機内で映画が。



◆ドクター白鳥から◆

三回にわたってお送りした、フィレンツェの旅。歩き、調べ、見、食べ、飲み、話し、買い、沢山の経験をし、これからの三人の人生を、彩り豊かにしてくれました。

「おくりびと」は、「納棺夫日記」という原作があります。昨年、手元に取り寄せてありました。ホリスティック（全体）医療の大御所、帯津先生の講演で、参考図書に挙げられていたからです。今回、初めて、読了。「お金のための、死体を扱う穢れた仕事」というセルフ・イメージを捨て、「亡くなった人を旅立たせる尊い仕事」というセルフ・イメージを手に入れ、人生が変わった、という話がありました。余談ですが、そのイメージを得るため、まずは白衣と外科用のゴム手袋を用意したそうです。

あなたは、どんなセルフ・イメージで暮らしていますか？

帯津先生は、「医療だけではない、人生そのものが、ホリスティックであるべきだ」とお話してました。

あなたからの『嬉しい声♪』 第26回

慎重で薬を出さない、すぐ注射をしない、すぐ薬を出さない、すぐ注射をしない、すぐ薬を出さない、すぐ注射をしない、

安松町 田中さん(七十二才)



私達は、白鳥内科医院の所在は以前から知っていました。
2、3年前より、知り合いで近所に住む鳥羽山さんから、白鳥内科は、よい医者で自分もよく行って診てもらおうという話をいつも聞いていました。

今年の間人ドック（聖隷ドックセンター）で診断を受けた結果、血圧が少し高めだったり他にも少々悪いところもありました。

そこで紹介状も出されたし、初めてですが白鳥内科へ行ってよく診てもらって、年齢的（平均年齢）にもまだ健康体を維持して過ごしたいし、生活していきたいと思って伺いました。

身体の具合が悪くなった時など、いつも悩む事が、どこの病院へ行けばよいのか分からない。病院、医院をいろいろ知る事はできますし、たくさん知ってもいます、でも、その内容がよく分からなくて何時もなやみます。

先日、白鳥内科医院に行き診察を受けたところ、先生は**すぐ薬を出さない、また、すぐ注射をしないなど慎重で本人（患者）の話をよく聞いてくれるし、なっとく出来るまで説明をしてくれる**など、非常によい印象を受けました。

「ドクター白鳥から」

あなたの健康不安、白鳥内科に丸投げしてください！

田中さんに限らず、病院で相談したいのに、実際に行くとなると抵抗のある方には、ふたつの理由があります。

抵抗 その一。「どの病院に行けばいいのだろうか？」

ここでの出番が、かかりつけの内科医。当院には、「神経内科専門医」という顔と、「第一線の内科医」という二つの顔がございます。（大腸肛門科専門 松田病院 「あいあい通信」新年号参照。関心のある方には、先着十名差し上げます。）たとえ、どんな不安、症状をお持ちの方でも、実際にお話をうかがい、診察させていただくと、たちどころに、そのまま自分で診ていくか、それとも適切な紹介先を思い浮かべるかは、「第一線の内科医」の仕事。つまり、「医院の内容がよくわからない」と悩むことなく、あなたの不安を丸投げできるのです。

抵抗 その二。「自分の希望を聞いてもらえる？」

田中さんは、最近血圧が高めでしたが「すぐにお薬を出されるのではないか？」と不安をお持ちでした。そこで、奥様は投薬をご希望でしたが、まだ緊急事態ではないことを検査で確認。そして、ご自宅での血圧の測り方を看護師からご指導し、自宅で血圧測定。

自分の状態を納得していただいているから、二回目の診察で、降圧剤を処方。この「ご本人の納得」が、よりよい治療の継続につながるのです。田中さん、これからも、奥さん、鳥羽山さん、白鳥内科スタッフ、私と、タッグを組んで、健康体を維持するために、がんばりましょう。



ドクター白鳥

頭痛・めまい・物忘れ・「ねたきり」予防

脳検査・治療センター

白鳥内科医院

検索

☎427-0007 まで。